

# 第 8 回全員協議会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 3 年 1 2 月 2 1 日 (火曜)		午前 1 0 時 2 0 分 開会
	休 憩		
会 議 場 所			
出 席 議 員 氏 名	議 長 早 苗 豊	議 員 寺 町 平 一	議 員 堀 切 忠
	副 議 長 常 通 直 人	議 員 鈴 木 健 充	議 員 橋 本 和 仁
	議 員 西 尾 一 則	議 員 中 村 和 宏	議 員 中 田 智 恵 子
	議 員 柴 田 正 博	議 員 立 川 美 穂	議 員 黒 田 栄 継
	議 員 広 瀬 重 雄	議 員 梶 澤 幸 治	
	議 員 正 村 紀 美 子	議 員 渡 辺 洋 一 郎	
欠 席 議 員 氏 名			
説 明 等 に 出 席 し た 者 の 氏 名			
事 務 局 職 員	事 務 局 長 安 田 敦 史	総 務 係 長 佐 藤 史 彦	同 主 査 上 田 瑞 紀
『会議に付した事件と会議結果など』			
1 開 会			
議 長 が 開 会 を 告 げ、事 務 局 か ら 日 程 を 説 明 す る。			
2 議 件			
(1) 協 議 事 項			
ア 令 和 4 年 度 議 会 費 予 算 案 に つ い て			資料 1
イ 白 樺 高 校 と の 包 括 連 携 協 定 事 業 ( 3 学 年 ) の 総 括 に つ い て			資料 2
ウ 芽 室 高 校 と の 意 見 交 換 会 実 施 要 領 案 に つ い て			資料 3
エ 第 1 回 モ ニ タ ー 会 議 の 総 括 に つ い て			資料 4
オ 第 2 回 モ ニ タ ー 会 議 開 催 要 領 案 に つ い て			資料 5
カ 議 員 の 定 数 と 報 酬 の あ り 方 に つ い て			資料 6
3 その他			
<hr/>			
2 議 件			
(1) 協 議 事 項			
ア 令 和 4 年 度 議 会 費 予 算 案 に つ い て			資料 1
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総 務 係 長 : 資 料 説 明</li> <li>・ 議 長 : 意 見 ・ 質 疑 は な い か。</li> <li>・ 立 川 議 員 : 資 料 雑 誌 購 読 料 に つ い て、WEB マ ガ ジ ン の 予 算 は 計 上 さ れ て い る の か ?</li> <li>・ 総 務 係 長 : 議 員 NAVI に つ い て は、議 会 運 営 活 動 事 業 ( 資 料 P14 ) の 使 用 料 及 び 賃 借 料 の 予 算 ( タ ブ レ ッ ト 端 末 ラ イ セ ン ス 使 用 料 ) に 計 上 し て い る。</li> </ul>			

- ・議長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議長：説明内容のとおり決定する。

イ 白樺高校との包括連携協定事業（3学年）の総括について 資料2

- ・事務局長：資料説明（参加議員全員からの振り返りを集約し、議運で協議した総括である旨を説明）
- ・議長：意見・質疑はないか。議運委員長から補足総括はないか？
- ・中村議員：コロナ禍の中、先方との協議等に苦慮したが、無事に事業完了に至ったことを感謝申し上げます。事業を実施することが目的ではなく、年々発展させていくことが重要なので、今後とも御理解と御協力を願いたい。
- ・議長：他に各議員から意見等はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議長：説明内容のとおりを議会の総括として先方に報告し、次年度以降の事業につなげていくこととする。

ウ 芽室高校との意見交換会実施要領案について 資料3

- ・事務局長：資料説明（9月16日開催の第5回全員協議会で情報共有した実施要領の概要案について、その後、議運と先方との協議により合意に至った実施要領である旨説明）
- ・議長：意見・質疑はないか。
- ・立川議員：昨年度は、オンラインという会議手法を採用して、双方に意義と効果があった。今年度は諸々の事情もあり対面となったことは理解するものの、昨年度の会議手法について、先方から課題（意見）はあったか？
- ・事務局長：昨年度の実施方法の課題への意見はほぼなかったが、今年度の事業実施にあたり、限られた時間の中で、かつテーマを鑑みた時に、有効、効果的な手法として、臨場感のある対面という結論になったものである。
- ・立川議員：新たな会議手法の実践として、今後に向けては、オンラインを基本的な手法のひとつとして協議していただきたい。意見として申し上げます。また、意見交換の結果は全議員に情報共有していただきたい。
- ・議長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議長：説明内容のとおり決定する。事業内容について、議員各位の理解を求める。

エ 第1回モニター会議の総括について 資料4

- ・事務局長：資料説明（各グループからの振り返りをもとに、議運で協議した総括である旨を説明。来年1月下旬に予定する第2回モニター会議の開催案内に同封すると共に、第2回会議の前段で改めて報告する位置付けの旨を説明。）
- ・議長：意見・質疑はないか。

- ・(意見・質疑なし)
- ・議長：説明内容のとおり決定する。今後に向けても、議員各位の理解・協力を求める。

オ 第2回モニター会議開催要領案について 資料5

- ・事務局長：資料説明（「日程」「会議手法」「テーマ」「会議次第」「進行手順」等の説明。モニター出欠結果により、改めてグループ編成等を含めて来月下旬に協議する予定を説明。）
- ・議長：意見・質疑はないか。
- ・広瀬議員：会議手法について、議員（会場参加）とモニター（オンラインとの選択）の条件設定が理解できない。詳細の説明を求める。
- ・正村議員：一般論でやり取りできない多少難しいテーマのため、議員においては会場参加とし、可能な限り臨場感を重視したい思いによるものである。また、モニターは家庭環境等（子育て等）を配慮し、別々の条件を設定したものである。
- ・広瀬議員：会議の手法と会議のテーマとの考え方の整合性について、違和感を感じる。難しいテーマだから対面、そうでなければオンライン。そうではなく、新しい会議手法として、オンラインを基本の会議手法として、選択肢に設定すべきではないか。
- ・中村議員：趣旨は理解する。ただし、先ほど正村議員が説明したとおり、議員は全員が会場参加としたい。
- ・広瀬議員：別の視点でお聞きしたい。オミクロン株が、急速に拡大してきている実態を鑑みると、今回提案されている会議手法の見直しは想定しているのか？
- ・中村議員：10月22日の全員協議会で合意形成を図った「行動指針」に基づき、検討を重ねた会議要領である。当然、見直しは想定している。
- ・立川議員：参加手法の対面、オンラインに優劣をつけるべきではない。委員会条例等の関係例規を改正し議会を運営している。テーマの難易度で会議手法を決めるべきでないと考える。オンラインでも手法によっては、意思疎通は可能である。仮にモニターがオンライン多数で、議員は全員会場参加となっても、会議は成立するのか？会議の趣旨は本末転倒にならないか？
- ・正村議員：モニターの出欠確認はこれからのため、その結果を見て、若干の変更は想定しながら内容を確定させたい。
- ・梶澤議員：グループワークに先立ち実施する参加者全員への情報共有の「基礎情報の説明」というのは、「資料5-2」を活用してということか？
- ・正村議員：お見込みのとおり。
- ・梶澤議員：当日配布資料のイメージは？
- ・正村議員：本日お示しの資料は、事前にモニターへ配布する予定である。
- ・梶澤議員：グループワークのテーマ（議会の常任委員会を構成する人数の議論等）を議論するのであれば、事前に、参加者が共通認識を図れるだけの基礎情報の提供がもっと必要ではないか？
- ・正村議員：ご意見を踏まえて、グループワークの進行について、改めて議運内で協

議する。また、全議員においても、その流れの共通理解が必須と考えている。

- ・梶澤議員：全議員の趣旨の共通理解が重要と捉える。議員間の目合わせ（各グループワークでの議員の回答の整合等）が必要と考える。
- ・正村議員：御意見を踏まえて、議運内で改めて協議・検討をしたい。
- ・議長：他にないか？
- ・立川議員：オンラインで参加する（会議室での参加メンバーの顔がわかるなどの）モニターへの配慮を提案したい。
- ・広瀬議員：意見を2点。会議手法の再検討が1点目。前回、議会改革諮問会議への諮問を振り返ると、モニター全員の基礎知識・共通認識が大前提で、それが担保されないと議論が噛み合わないため、十分な事前準備を徹底していただきたいというのが2点目である。
- ・梶澤議員：モニター会議の資料については、常任委員会の会議開催数の統計のほか、議会運営委員会の会議開催実績も加えていただきたい。また、併せて議会運営委員会の位置付けも資料にいただきたい。
- ・柴田議員：会議の開催にあたっては、モニターさんに何を知っていただき（事前に提供する情報の確定）、何も求めるかについて（当日期待する意見）を整理し、焦点を絞った意見交換に仕立てると有効な時間になるだろう。その見通しを立てた中で、資料を事前提供し、各自、基礎知識を得ることができるよう手順が必要と考える。
- ・議長：実施要領を整理し、モニターに対し年内に会議案内をする。また、今回の議論を踏まえ詳細を議運で改めて検討する。

#### カ 議員の定数と報酬のあり方について 資料6

- ・事務局長：資料説明（「検討経過」「協議概要・議論の視点」「今後のスケジュール」を説明。）
- ・議長：意見・質疑はないか。
- ・立川議員：前回（平成26年）の際は議会フォーラムなども活用し、議論を重ねてきたが、今回の予定はいかがか？
- ・中村議員：議運内部で詳細の議論をしていない。
- ・立川議員：限られた時間ではあるが、議論していただきたい。
- ・広瀬議員：全体のタイムスケジュールについて、お示しいただきたい。
- ・中村議員：令和4年4月に議運として、案を確定させたいスケジュールである。
- ・広瀬議員：議会としての意思決定はいつか？4月か？
- ・中村議員：6月議会提案を目標にして進んでいるところである。
- ・橋本議員：費用弁償についても検討をしていただきたい。また、他の自治体議会と比較して、多い会議数に見合う報酬の検討もお願いしたい。
- ・立川議員：諮問会議、モニター以外の町民の皆さんにも考えていただける場面を設定していただきたい。意見として申し上げる。
- ・広瀬議員：町民全体の問題として捉えていくべきと考える。住民自治の根幹ということを重視して、議会全体で取り組んでいきたい。

- ・梶澤議員：「定数と報酬」は諮問を受けた議運のみの問題と捉えるものではない。議員全員が、自分事として、議運での会議録等を確認し、理解する意識をもって臨んでいただきたい。ぜひ、個々の議員がそれぞれに知識を得て考えていく姿勢で臨んでいただきたい。
- ・議長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議長：各議員からの意見を踏まえ、今後も、継続的に議会運営委員会で検討・研究を進めることとする。

### 3 その他

- ・議長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）

以上で会議を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----

記載のとおり報告する。

令和3年12月21日

芽室町議会議長 早 苗 豊